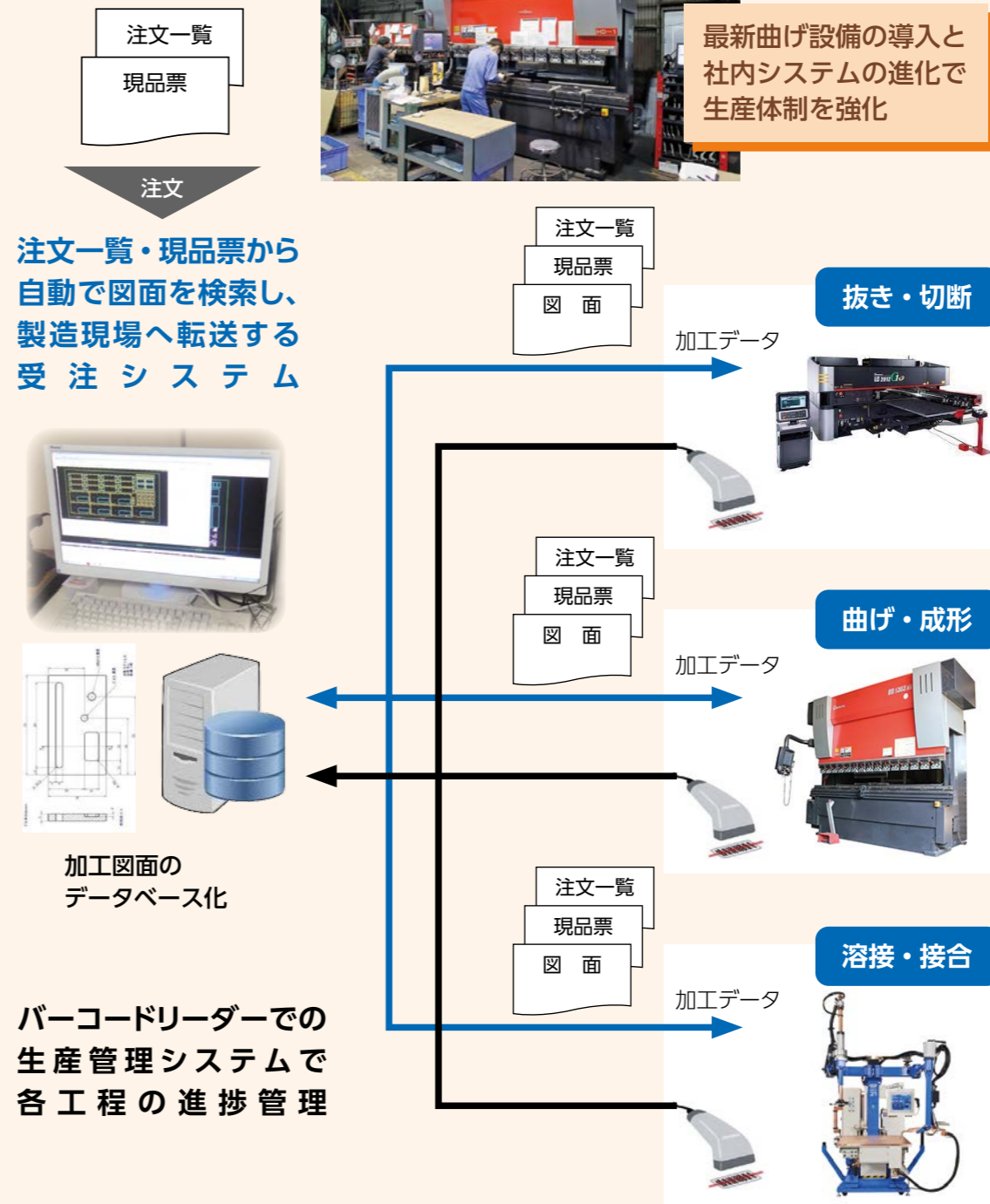


多様化する多品種少量生産に対応するための 社内IoT化に向けた設備投資

最新曲げ設備の導入と
社内システムの進化で
生産体制を強化



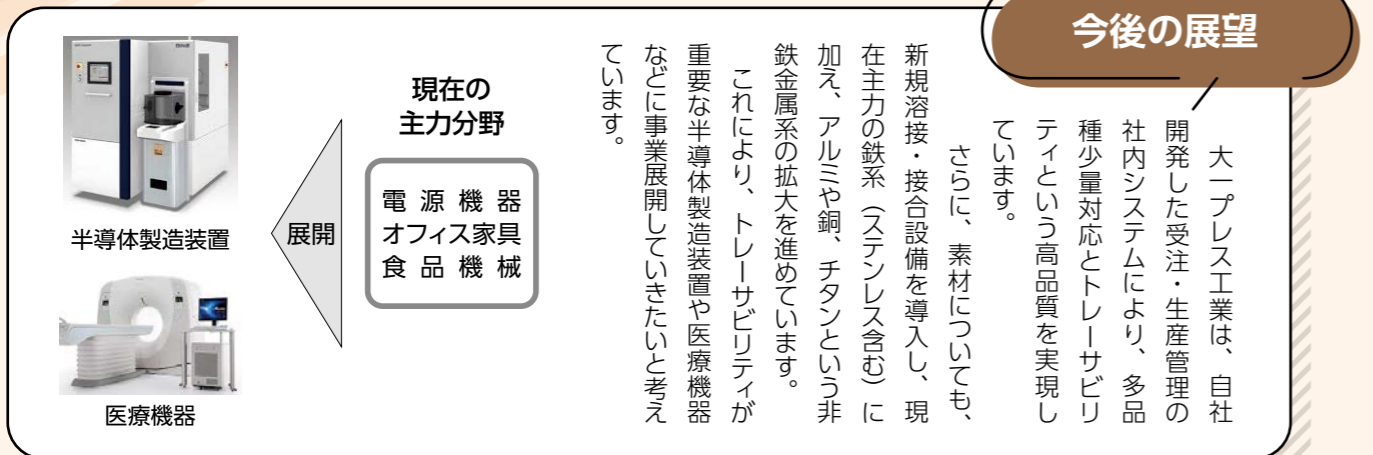
バーコードリーダーでの
生産管理システムで
各工程の進捗管理

ものづくり補助金活用 ここがポイント！



曲げ工程に導入した最新鋭設備は、薄板から厚板を高速・高精度で曲げるといふベンディングマシン本来の機能に加え、社内システムのサーバーと連携できることが最大の長です。その結果、製品が決まれば、加工型の選定・加工データの入力を自動で対応でき、曲げ工程の時間を従来の2/3以下に短縮することができました。

FUTURE 今後の展望



大一プレス工業は、自社開発した受注・生産管理の社内システムにより、多品種少量対応とトレーサビリティという高品質を実現しています。

さらに、素材についても、新規溶接・接合設備を導入し、現在主力の鉄系（ステンレス含む）に加え、アルミや銅、チタンという非鉄金属系の拡大を進めています。これにより、トレーサビリティが重要な半導体製造装置や医療機器などに事業展開していきたいと考えています。

技術力と情報処理力の両面の継続した強化で 多様化するニーズに対応

90年代までの製造業では、顧客が中小企業を注視・選択する視点は「技術力」でした。しかし、多品種少量生産対応が求められる現在は、「技術力」と「情報処理力」の二大要素が必須の状況に変わってきています。

このような中、「技術力」は設備の技術革新により最新設備を導入すれば解決できるようになっていますが、IoTやDXと呼ばれる「情報処理力」については中小企業では発展途上です。

一層多様化するお客様のニーズに対応するため、当社は、事務処理系ネットワーク（受注システム）と現場加工系ネットワーク（生産管理システム）、両ネットワークの連携を自社開発した「情報処理力」をさらに進化させ、差別化・競争力の源泉としていきます。



大一プレス工業 株式会社

代表者名／大川 信司
 資本金／1,800万円
 従業員数／24人
 設立年月日／1968年4月
 事業内容／金属プレス加工
 精密板金加工

住所／滋賀県栗東市小柿2丁目8-7
 連絡先／TEL：077-552-3123
 FAX：077-553-7326
 代表E-mail／sin911@angel.ocn.ne.jp
 URL／https://daiitipuresu.hp.gogo.jp/pc/